

◆推定損傷主原因

塩 害

◆考えられる他の原因

施工不良

◆地域

青森県 日本海沿岸 0~100m 厳寒～寒冷

◆部位

PC 主桁

◆供用年数

不明

◆判定理由ほか

塩害により著しい劣化を受けて解体撤去されたポストテンション PC 桁の断面である。調査の結果、写真右側のかぶりが左側よりも少ないことが確認された。加えて、当該 PC 桁は PC 鋼材の端部が上フランジ上縁で定着されている。そのため、シース内部のグラウトが不充填の



場合には、橋面水が定着部から不充填部へと浸入する可能性がある。そのような施工不良による不具合と著しい塩害が複合して損傷が加速されたものと予想される。